

マンガで読む

コスモス
国際賞

International Cosmos Prize

Sir Ghilleain Prance

ギリアン・プランス卿

森と人との共生をみつめて

公益財団法人
国際花と緑の博覧会記念協会



マンガで読む

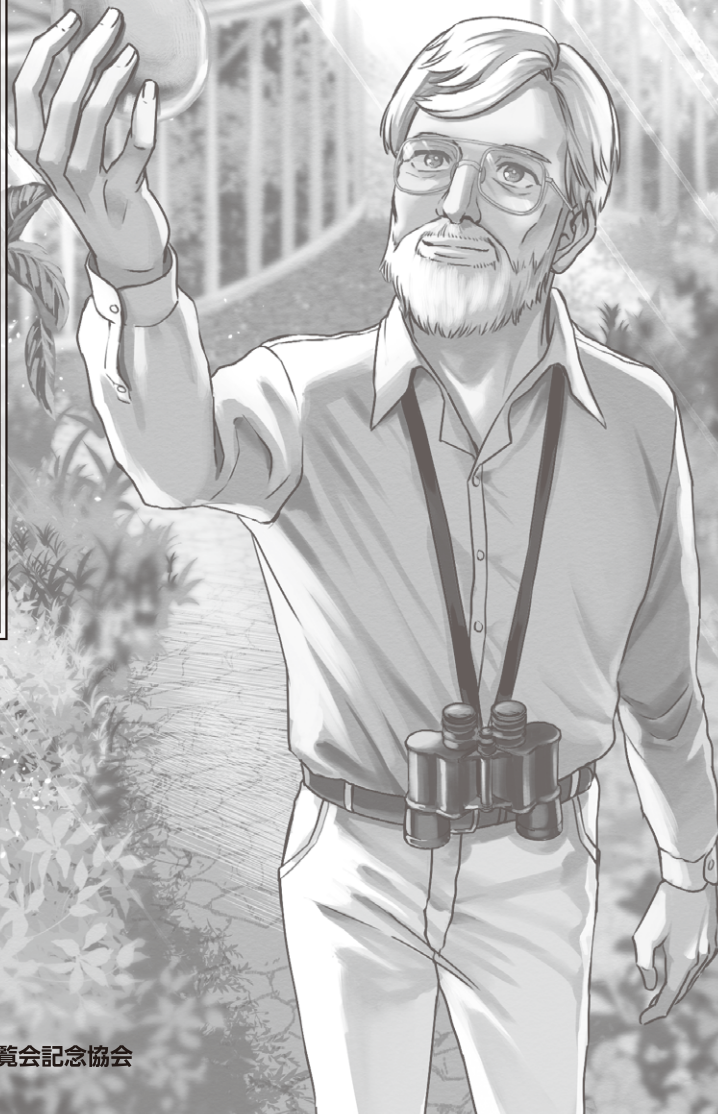
コスモス
国際賞

ギリアン・プランス卿

International Cosmos Prize

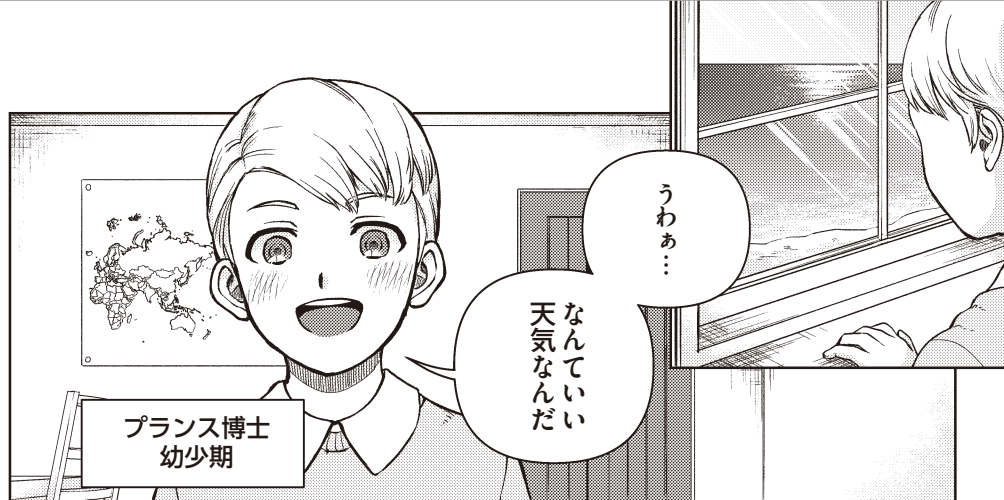
Sir Gillian Prance

森と人との共生をみつめて



公益財団法人
国際花と緑の博覧会記念協会

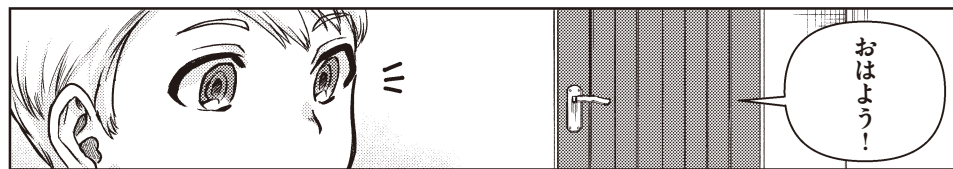




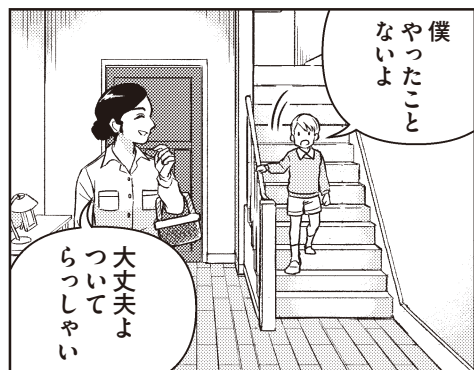
フランス博士
幼少期

なんていい
天気なんだ

うわあ…

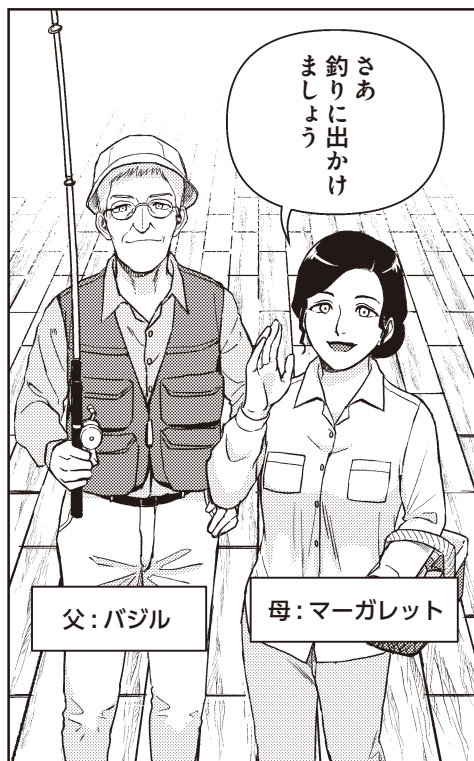


おはよう！



僕
やったこと
ないよ

大丈夫よ
ついて
らっしゃい



さあ
釣りに出かけ
ましょう

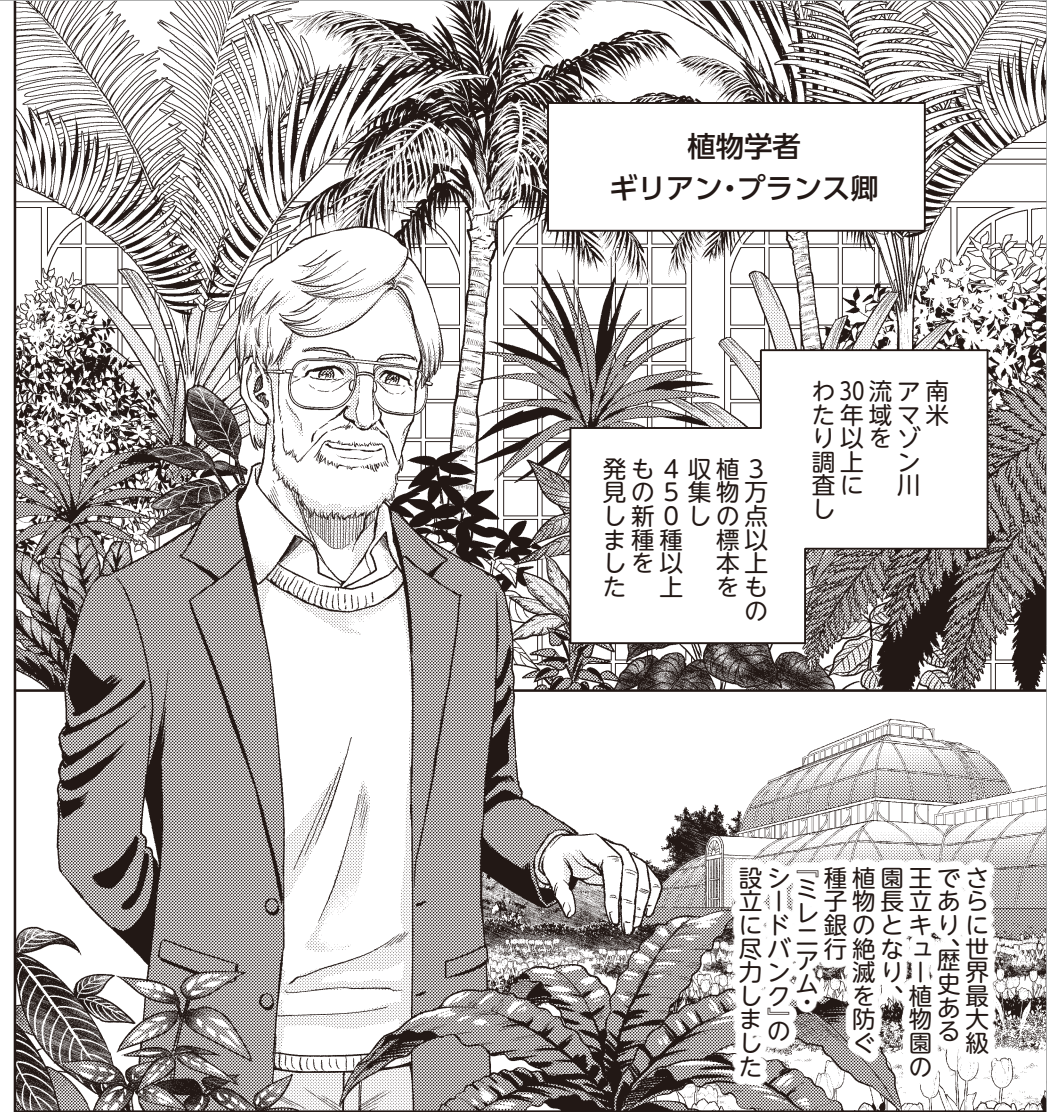
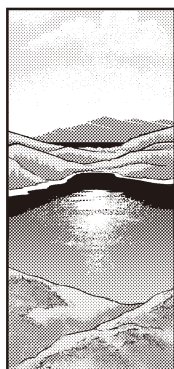
父：バジル

母：マーガレット



釣り方を
よく見て
おきなさい

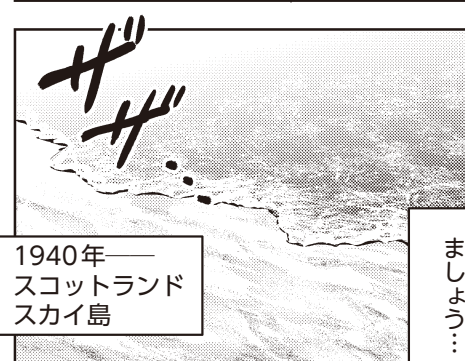
おチャ
ポ



植物学者
ギリアン・プランス卿

南米
アマゾン川
流域を
30年以上に
わたり調査し
3万点以上もの
植物の標本を
収集し
450種以上
もの新種を
発見しました

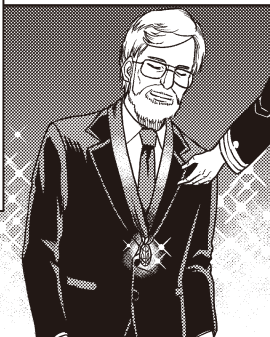
さらに世界最大級
であり、歴史ある
王立キュー植物園の
園長となり、
植物の絶滅を防ぐ
種子銀行
「ミレニアム・
シードバンク」の
設立に尽力しました



1940年—
スコットランド
スカイ島

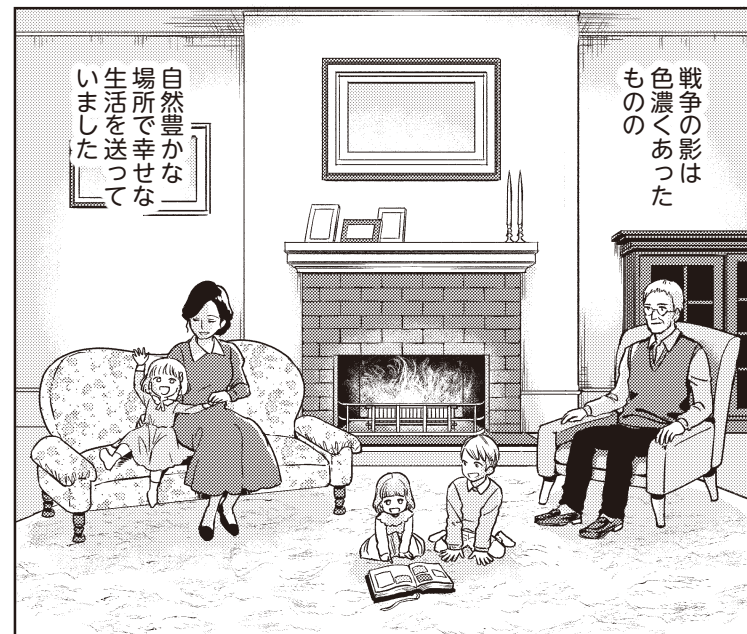
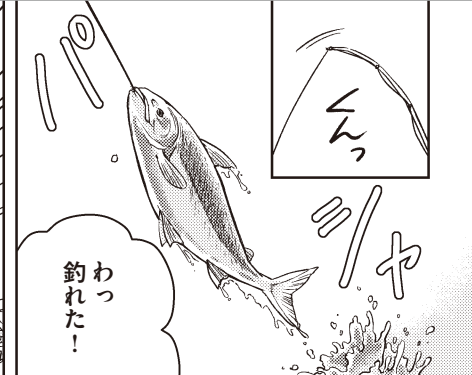
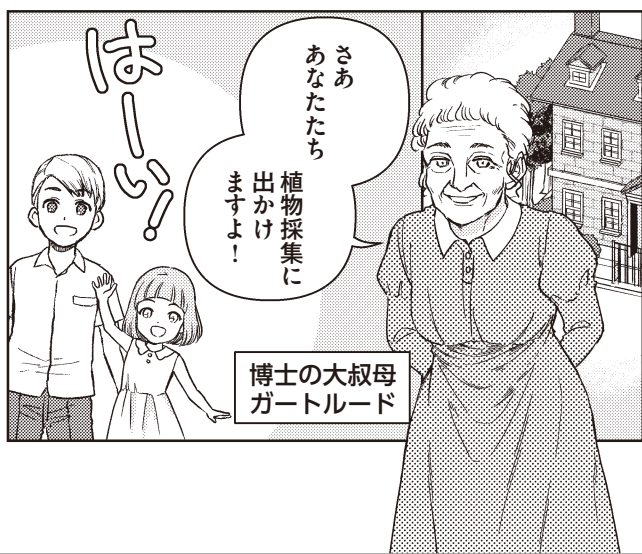
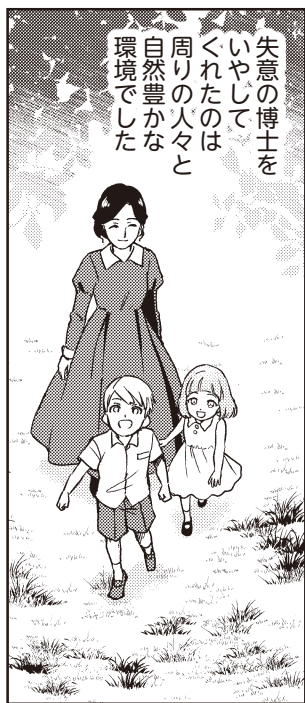
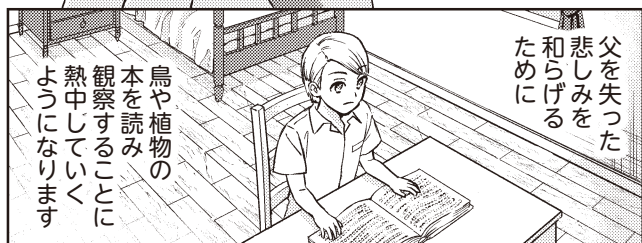
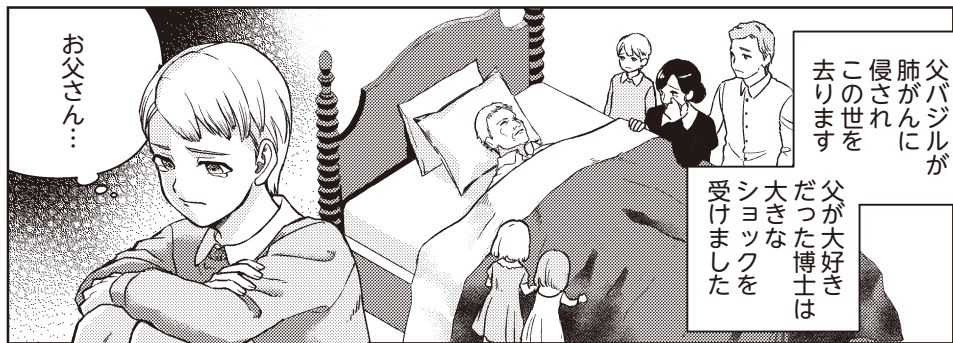
その多大な功績から
「エリザベス女王より
「ナイト」の称号が
与えられた
ギリアン・
プランス卿

そんな彼の
生い立ちを
見ていき
ましょう…

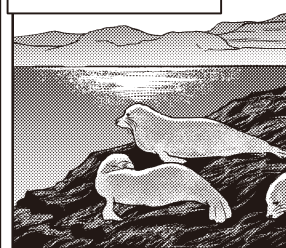




移住してから
2年後...



1937年
イングランドのサフォーク州に生まれた
プランズ博士は
戦争の影響もあり
博士が2歳の時に
スコットランドの
スカイ島に
移住しました



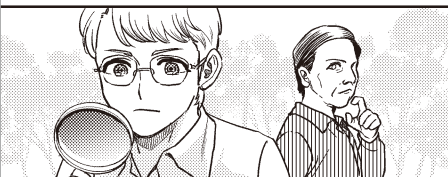


こんにちは
ウィルソン
先生！

こんにちは
フランス

何か
植物について
聞きたいこと
でも？

生物学教師
ビル・ウィルソン



いいかね
フランス

そして
フランス博士の
並々ならぬ
自然への興味
にも気がついて
いたので



植物が専門の
ウィルソン先生は
たびたび休日
植物好きの生徒を
野外観察に
連れて行って
くれました

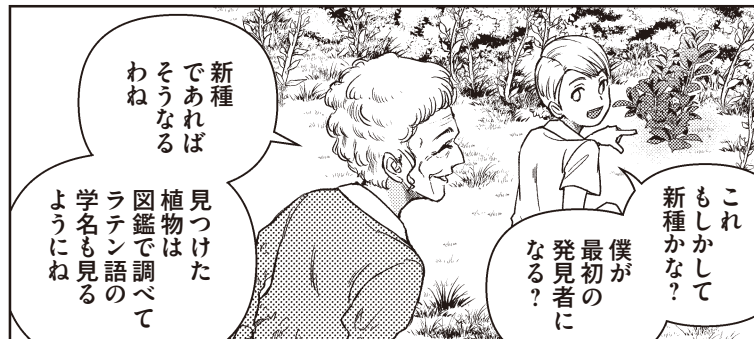
知らない
植物に
出会ったら
まずは全体を
よく見る

たとえば
この植物



葉のつき方
花弁のようす
などを順番に
観察して
いくことで

その植物の
属する
科・属種を
絞り込む
ことができるんだ



新種
であれば
そうなる
わね
見つけた
植物は
図鑑で調べて
ラテン語の
学名も見る
ようにね

僕が
最初の
発見者に
なる？

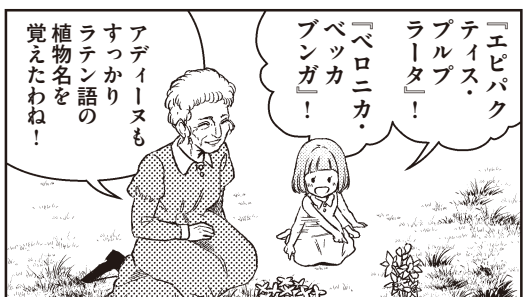
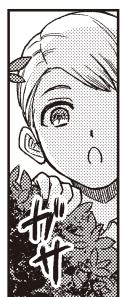
これ
もしかして
新種かな？



ガート
ルド
おばさん！

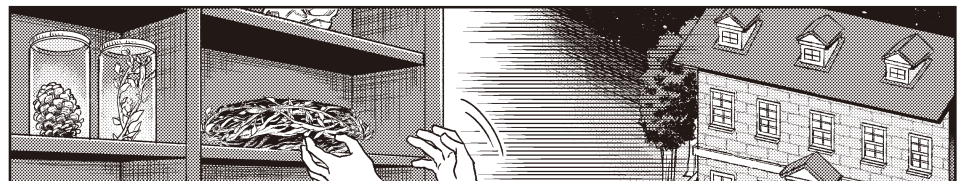


古い
鳥の巣だ！

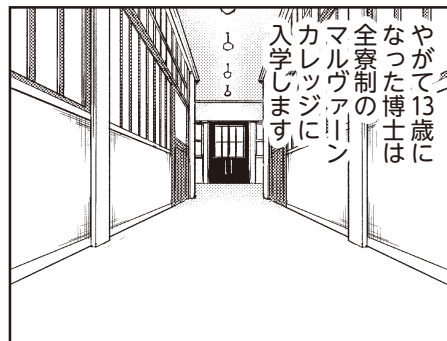


「エビバク
ティス・
プルプ
ラータ」！
「ペロニカ・
ベッカ
ブンガ」！

アディーヌも
すっかり
ラテン語の
植物名を
覚えたわね！



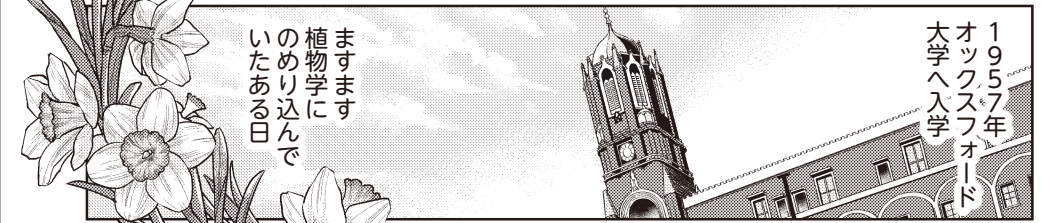
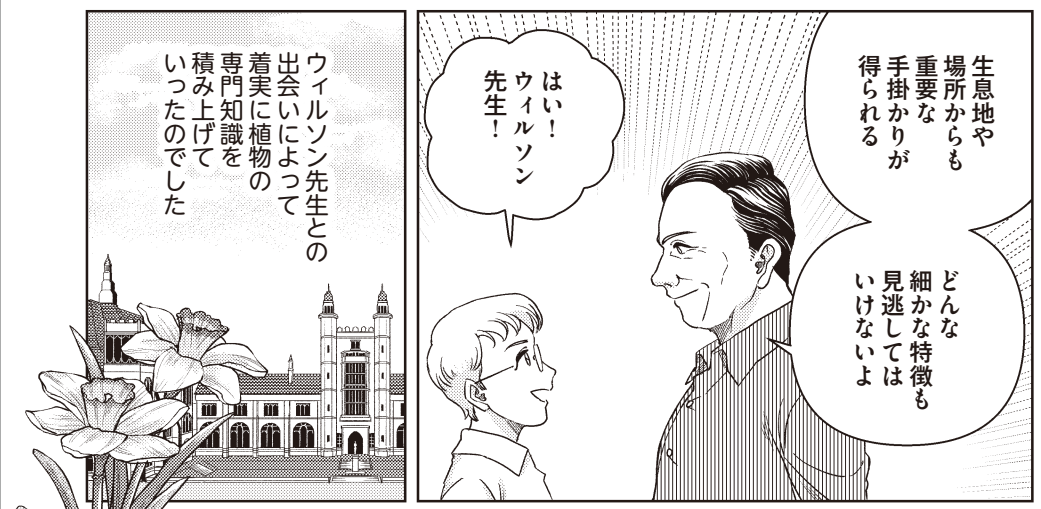
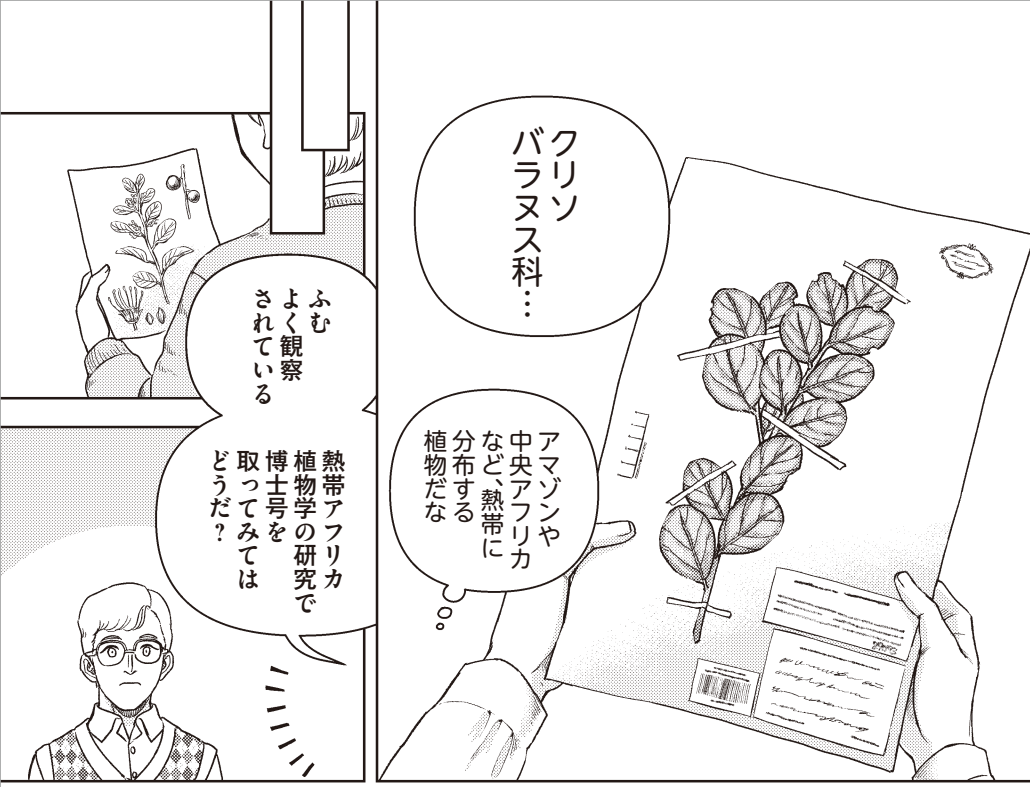
あっ
勝手に
さわっちゃ
ダメだよ！



やがて13歳に
なった博士は
全寮制の
マルヴァリン
カレッジに
入学します



僕の
「自然博物館」に
また展示品が
増えたぞ





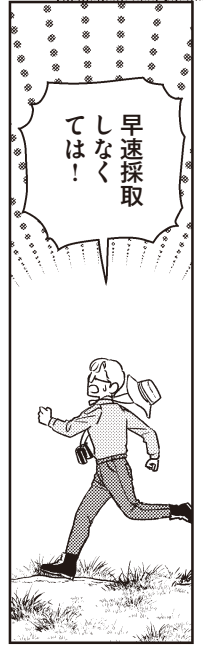
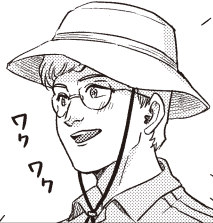
調査隊
ベースキャンプ

よく
来てくれたね
プランスくん！

今の作業が
終わるまで
もう少しだけ
待っていて
くれるか？

隊長
ハワード・アーウィン博士

でしたら
ちょっとだけ
周囲を観察しに
行きたいです！

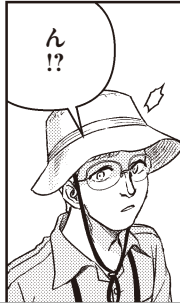


早速採取
しなく
ては！

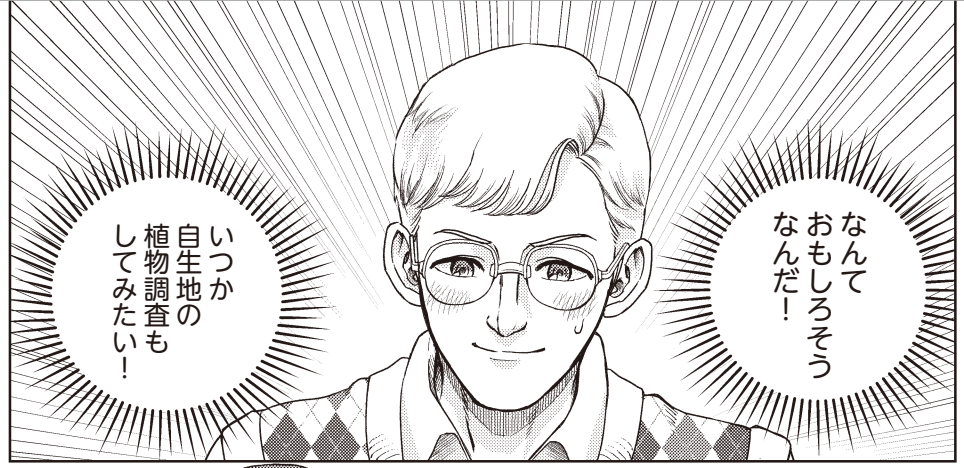


あれはクリン
バラヌス科
リカーニア属の
木！

花も実も
なってるぞ！

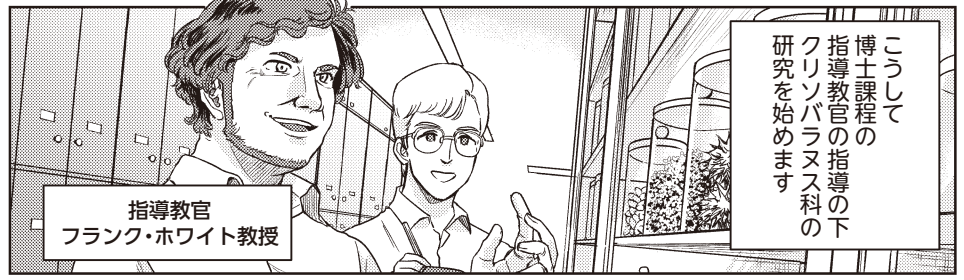


ん！？



いつか
自生地の
植物調査も
してみたい！

なんて
おもしろそう
なんだ！

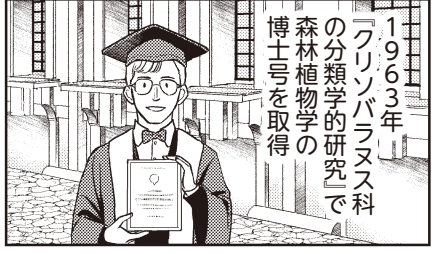


指導教官
フランク・ホワイト教授

こうして
博士課程の
指導教官の指導の下
クリンバラヌス科の
研究を始めます



憧れの
アマゾン！
まるで
大聖堂の中に
いるような
荘厳さだ



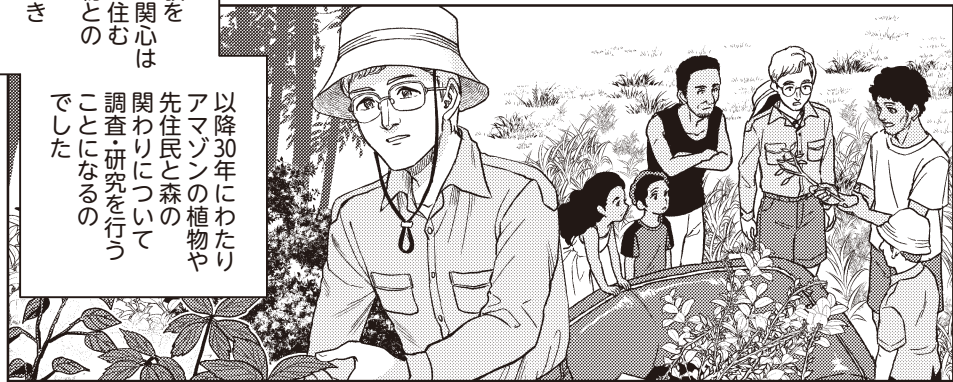
1963年
「クリンバラヌス科
の分類学的研究」で
森林植物学の
博士号を取得



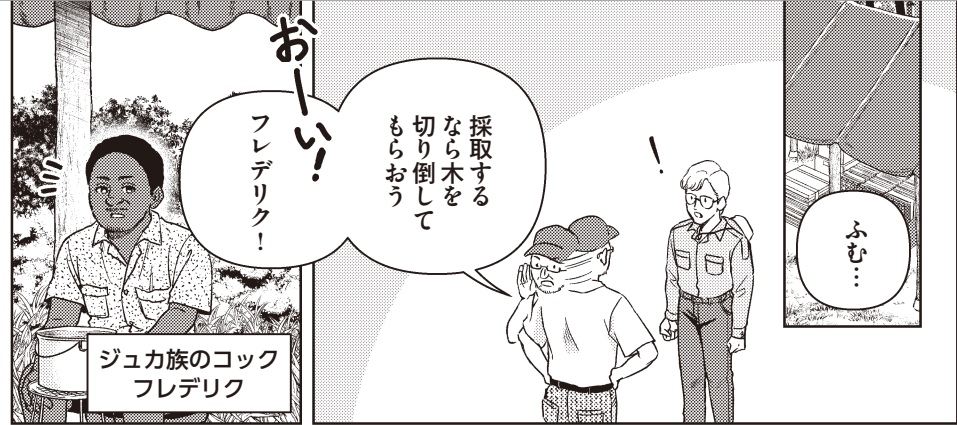
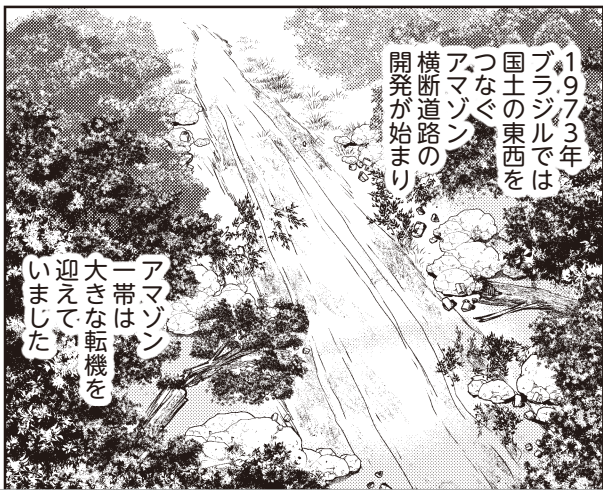
やがて世界で
最先端の植物研究が
行われている
ニューヨーク植物園の
博士研究員
として
南米北部
スリナムでの
調査旅行に
参加すること
なったのです



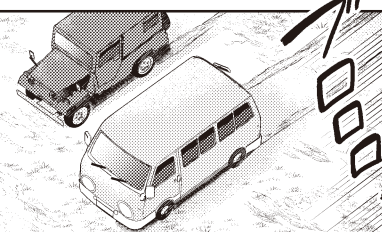
この調査旅行の後フランス博士はニューヨーク植物園に研究助手として正式に採用されました



※フランス博士は国立アマゾン研究所でブラジルの大学で学位を取得した学生を対象に植物学修士号取得のためのコースを設立していた。継続してアマゾンで研究キャリアを積み植物学者の育成が目的。



道路建設が生態系へ与える影響を調査するため



植物学を学ぶブラジル人学生たちとともに調査に向かいます

植物採集に役立つかもしれないから状況の把握は進めないと

フランス博士 36歳

何よりも学生が見聞を広めてくれるといいんだが...

でもホントすごいわよね！

わい

この広いブラジルの土地が道路で結ばれるなんて！

南部の人口が多すぎる地域からアマゾンに移住して農業ができるはずだ

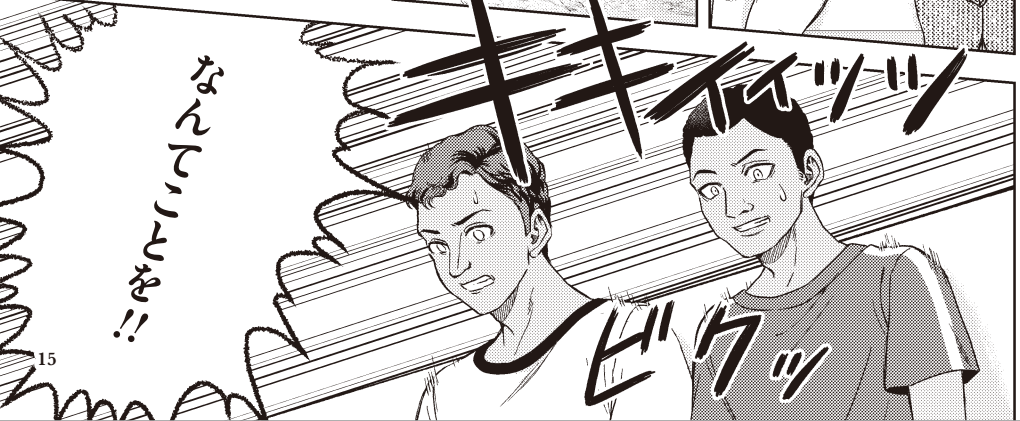
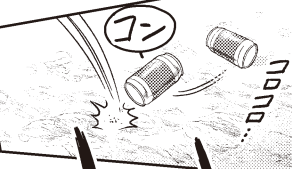
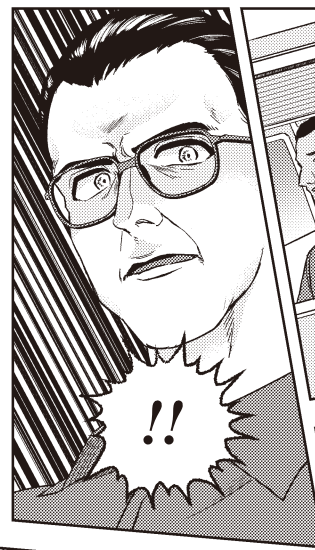
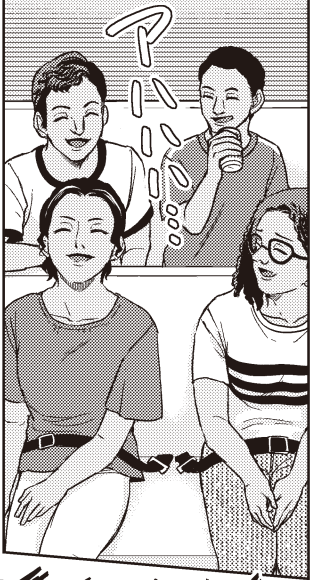
できた食料で乾燥地帯の食料不足が解消できるわね！

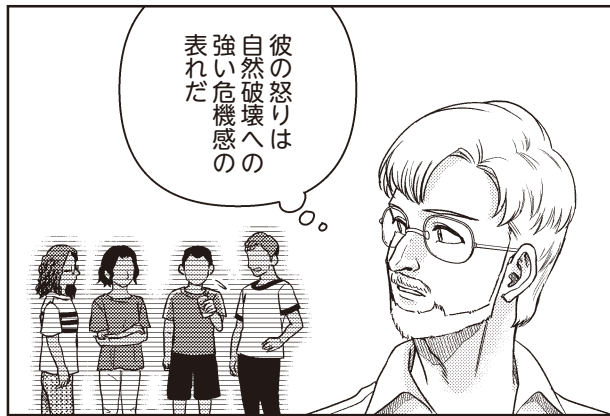
わい

生態学の専門家
ロバート・グッドランド博士

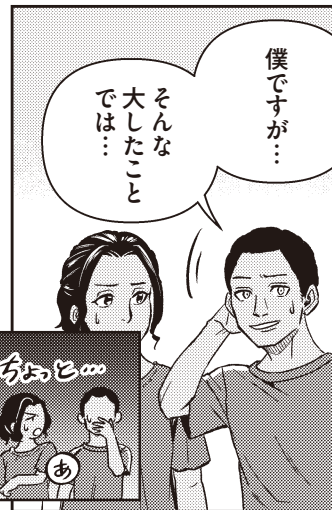
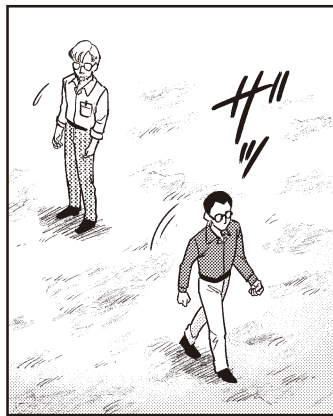
グッドランド博士は大規模な開発が自然環境へ及ぼす影響について研究している第一人者でした

またフランス博士とは植物園の同僚でもあり、専門家として今回の旅に同行していました





彼の怒りは
自然破壊への
強い危機感の
表れだ

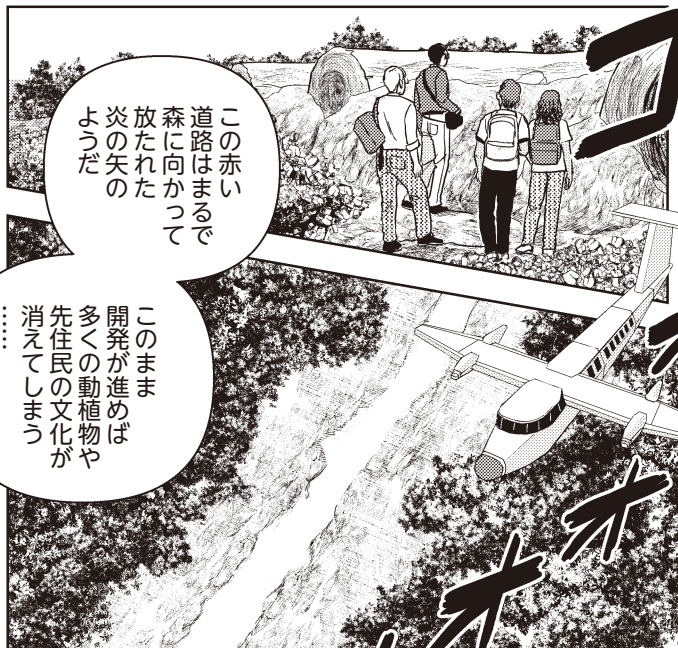


そんな
大したこと
では…

僕ですが…



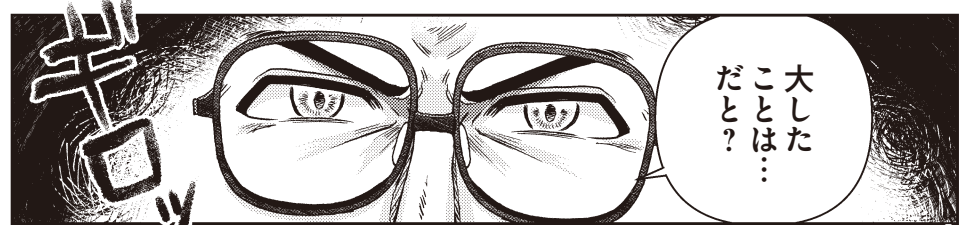
誰が
やったん
だ！



この赤い
道路はまるで
森に向かって
放たれた
炎の矢の
ようだ

このまま
開発が進めば
多くの動植物や
先住民の文化が
消えてしまう…

この時の調査は
博士にとって
自然と人間の
未来を考え続ける
大きな転機と
なりました

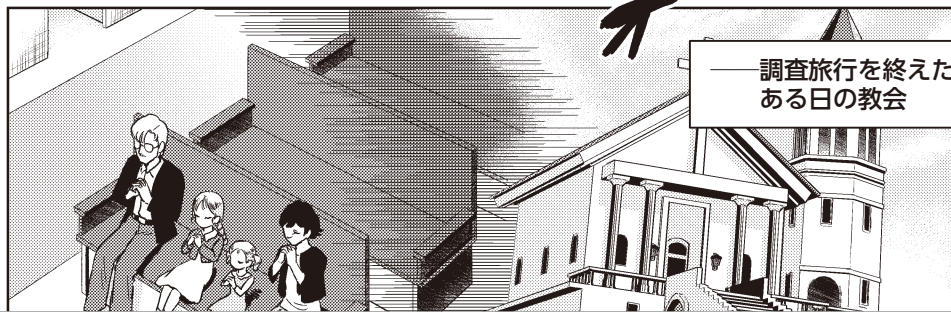


大した
ことは…
だと？



君たちは将来
植物学者として
この森の
守護者に
なるんだ

この森を
正しく理解し
かけがえのなさを
世界中に
示さなければ
ならない！



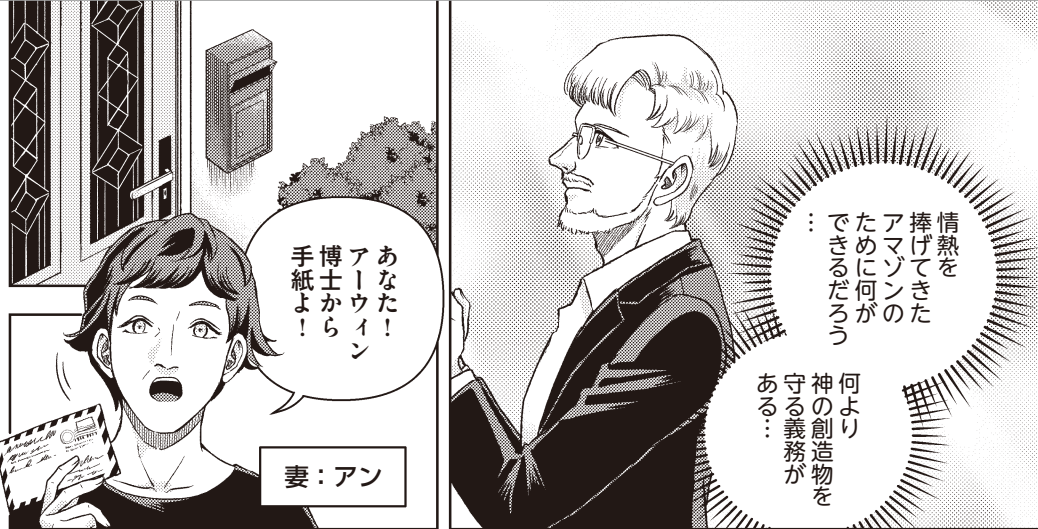
調査旅行を終えた
ある日の教会



管理職としての
業務や
資金集めが
加わり多忙な
毎日でしたが

悩みぬいた末
博士は
1975年に
研究部長に
就任しました

多くの人が
博士を支え
アマゾン調査
にも出かける
ことができ
ました



情熱を
捧げてきた
アマゾンの
ために何が
できるだろう
…
何より
神の創造物を
守る義務が
ある…

あなた！
アーウィン
博士から
手紙よ！

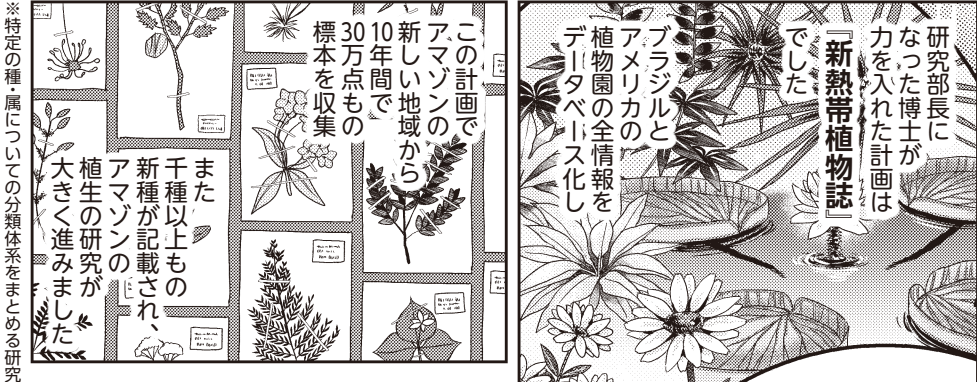
妻：アン



私を
ニューヨーク
植物園の
研究部長に
推薦だって!!

ええ!!

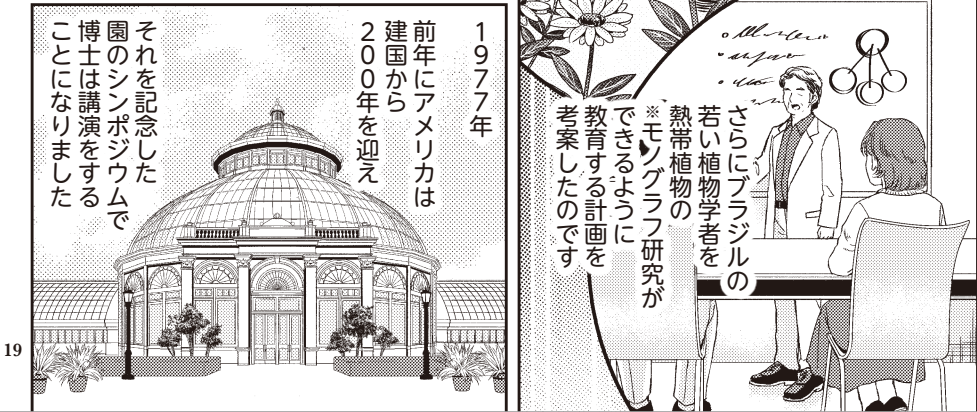
?



この計画で
アマゾンの
新しい地域から
10年間で
30万点もの
標本を収集
また
千種以上の
新種が記載され、
アマゾンの
植生の研究が
大きく進みました

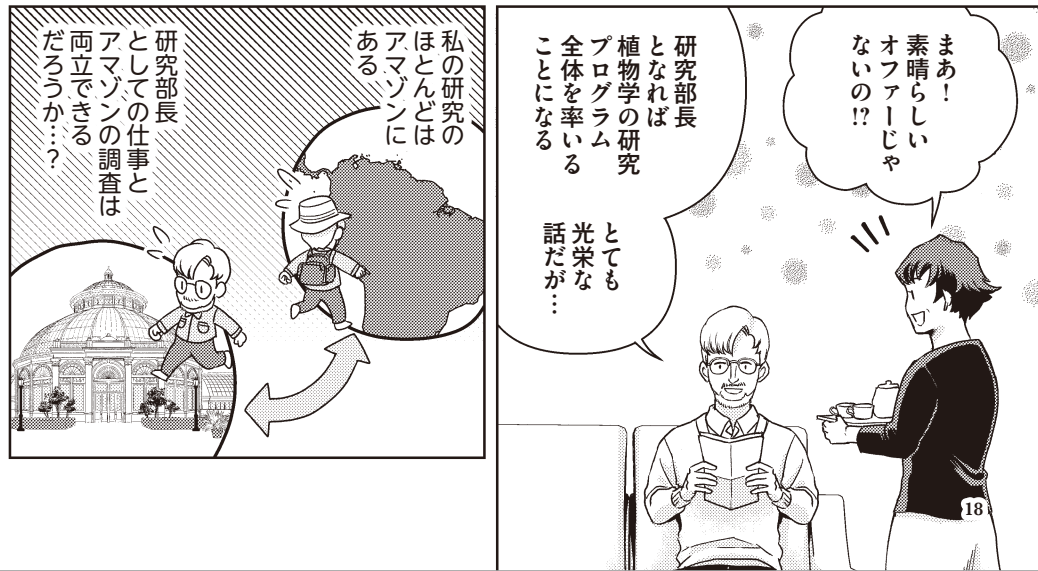
ブラジルと
アメリカの
植物園の全情報を
データベース化し
「新熱帯植物誌」
でした

研究部長に
なった博士が
力を入れた計画は
「新熱帯植物誌」
でした



1977年
前年にアメリカは
建国から
200年を迎え
それを記念した
園のシンポジウムで
博士は講演をする
ことになりました

さらにブラジルの
若い植物学者を
熱帯植物の
*モノグラフ研究が
できるよつに
教育する計画を
考案したのです



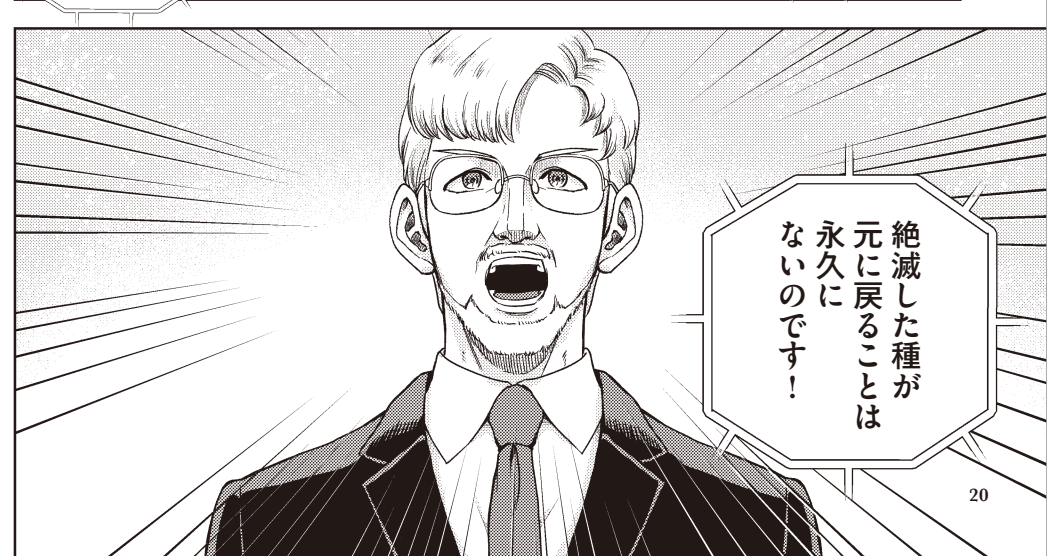
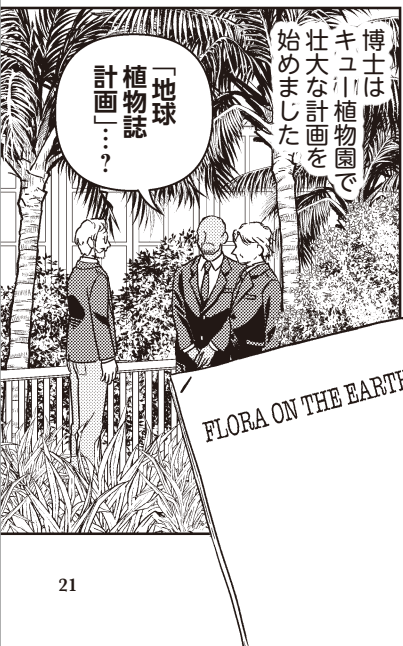
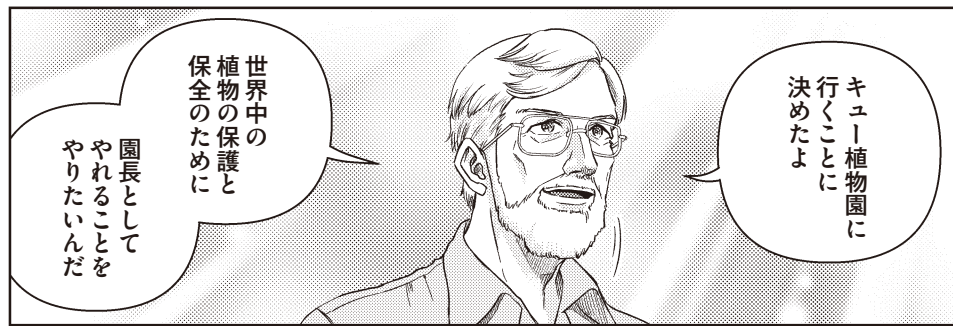
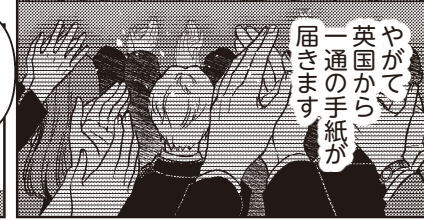
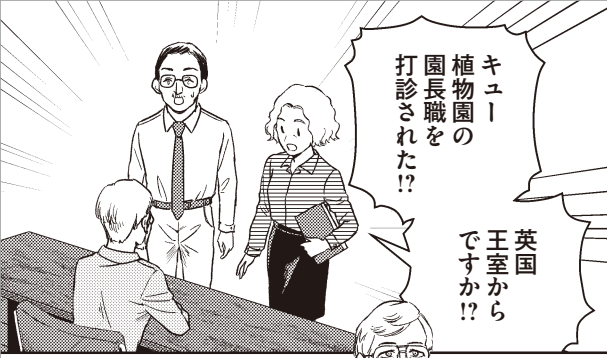
まあ！
素晴らしい
オファーじゃ
ないの!!

研究部長
となれば
植物学の研究
プログラム
全体を率いる
ことになる
とても
光栄な
話だが…

私の研究の
ほとんどは
アマゾンに
ある

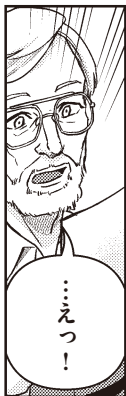
研究部長
としての仕事と
アマゾンの調査は
両立できる
だろうか…?

※特定の種・属についての分類体系をまとめる研究





私が「第1回コスモス国際賞」を受賞!!

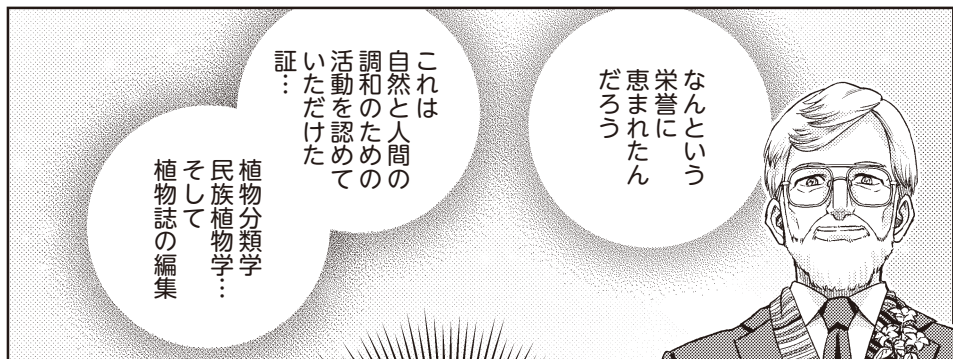


…えっ!



どうしたんです?

FAXでお届けにきました!



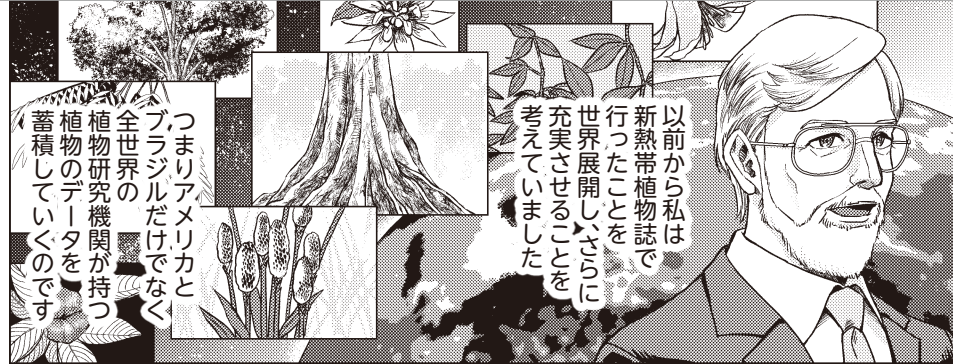
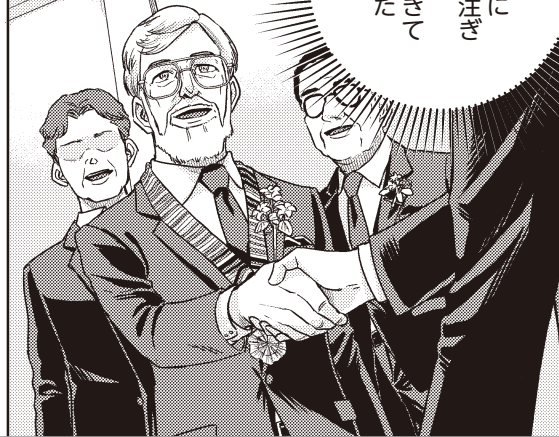
なんとという栄誉に恵まれたんだらう

これは自然と人間の調和のための活動を認めていただけだ証:

植物分類学
民族植物学
そして
植物誌の編集

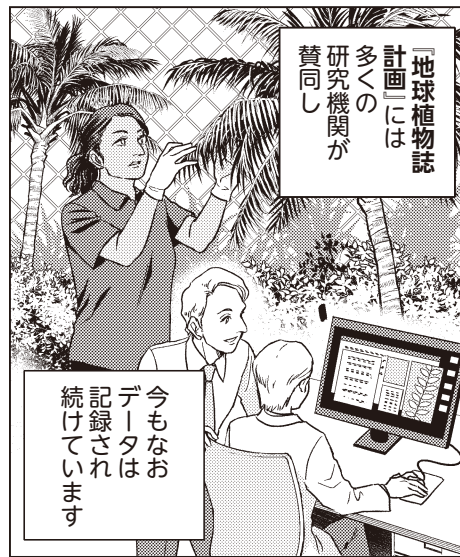
1993年10月22日
(大阪市)
コスモス国際賞授賞式

すべてに心を注ぎ研究に励んできて良かった



以前から私は新熱帯植物誌で行ったことを世界展開し、さらに充実させることを考えていました

つまりアメリカとブラジルだけでなく全世界の植物研究機関が持つ植物のデータを蓄積していくのです



「地球植物誌計画」には多くの研究機関が賛同し

今もなおデータは記録され続けています



オオ〜ッ

そうすれば地球全体の植物の理解が進むはずです!



世界中の保全活動をより活発にできますね!

ぜひ協力させてください!



はかせ



川の調査に出かけようとしていたところ…



月日は1993年8月半ば

ブラジル・マナウス

その後も
博士の情熱は
とどまること
なく

1993年
植物園の
研究者たちの
長年の目標である
施設の構想を
発表しました

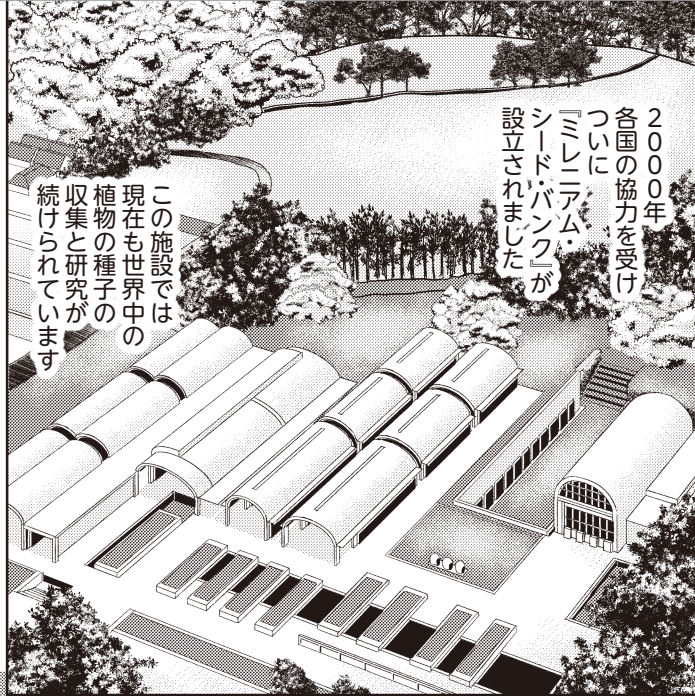
「ミレニアム・
シードバンク」
では地球上の
種子を研究し

何千年も
先まで保存
することを
目的と
しています



2000年
各国の協力を受け
ついに
「ミレニアム・
シードバンク」が
設立されました

この施設では
現在も世界中の
植物の種子の
収集と研究が
続けられています



博士は
1999年に
園長を退官し

多くの論文や
書籍の執筆、
社会への
貢献を続けて
います



たとえ野生で
ある植物が
絶滅しても種子が
保存されていれば
植物の絶滅を
防ぐことができます

冷凍技術



発芽技術

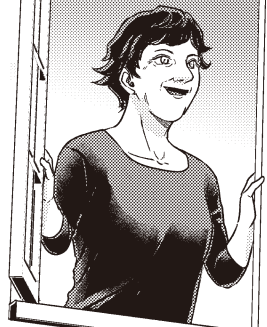
そのために
世界各国と協力して
種子を集め
技術を高めなければ
なりません



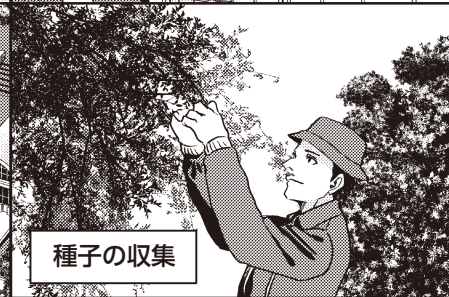
そして現在——
イングランド南部
プランズ博士の自宅

この家は
本当に
素敵だわ

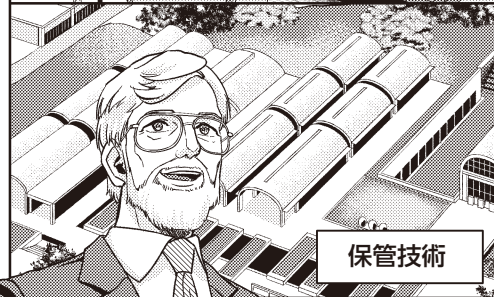
いつ見ても
素晴らしい
海辺ね



種子の収集



保管技術



これは
「絶滅に
対する保険」
なのです！

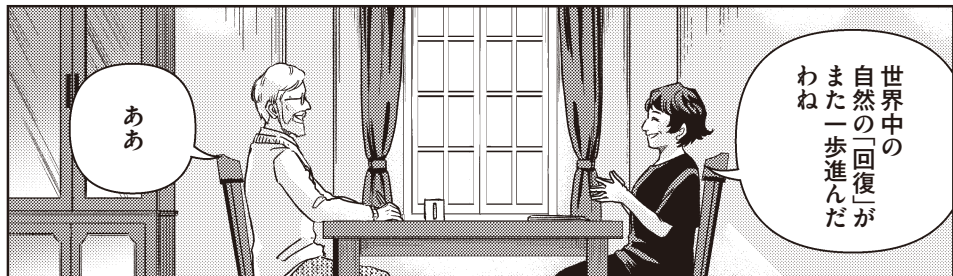
2000年
までの
実現を
目指して

皆様の
ご協力を
よろしく
お願い
します！

君は前から
海辺の家に
住みたいと
言っていた
からね

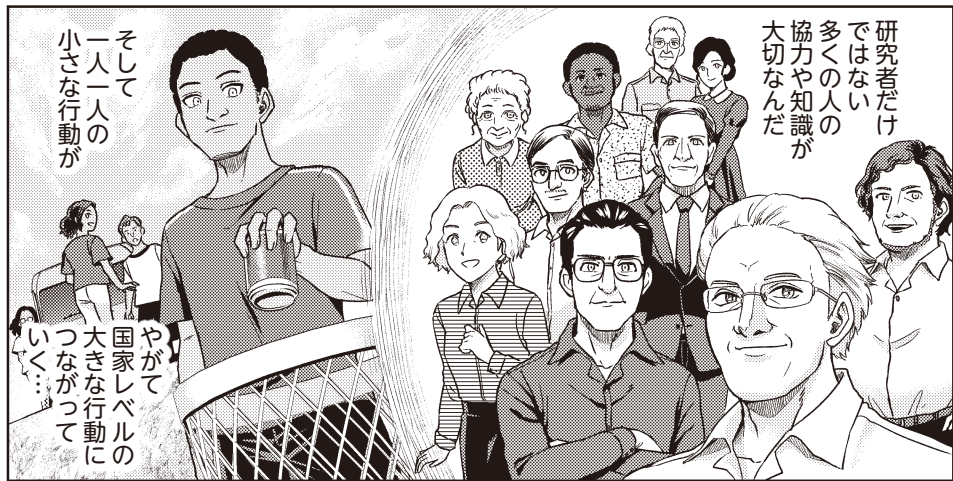
あなたの
退官後に、
こうして
一緒に家で
執筆ができて
うれしいわ





世界中の自然の「回復」がまた一歩進んだわね

ああ



研究者だけではない多くの人の協力や知識が大切なんだ

そして一人一人の小さな行動が

やがて国家レベルの大きな行動につながっていく



「自然と人間の共生のために何ができるか

これからもずっと探求していこう！

おわり

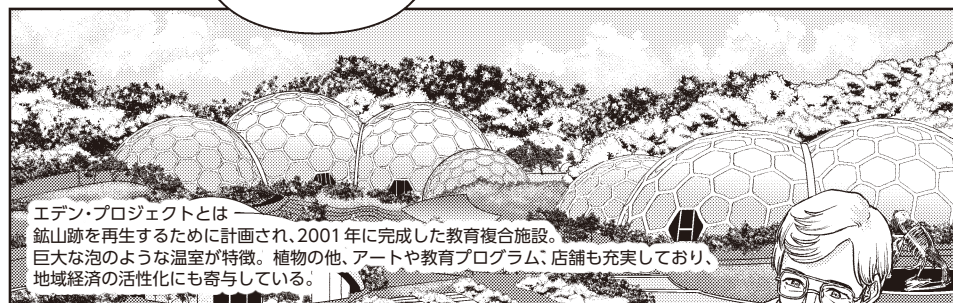


そういえばエデン・プロジェクトはうまくいっています？



幼い頃はよく窓から湖を眺めていたな

あの時から自然への興味は尽きなかったものだ



エデン・プロジェクトとは
鉱山跡を再生するために計画され、2001年に完成した教育複合施設。
巨大な泡のような温室が特徴。植物の他、アートや教育プログラム、店舗も充実しており、地域経済の活性化にも寄与している。



それに職員のみならず、来場者向けの教育プログラムを充実させてくれるんだ

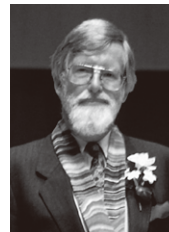
そのプログラムがあれば、誰もが自分の好きなこと、興味のあることから

英国政府の資金援助もあって、アルゼンチンの保全計画が進んだよ

学生に民族植物学を学んでもらえたし、保護区の面積をかなり広げることができたんだ

地球環境を「考える」きっかけを見つけてくれるはずさ

Profile



1993年コスモス国際賞受賞者

ギリアン・プランス卿

Sir Ghillean Prance

1937年生まれ。1963年 オックスフォード大学で博士号(植物学)取得。同年よりニューヨーク植物園に勤務。

1988年から1999年まで王立キュー植物園の園長を務めた。熱帯植物研究の権威。植物分類学、民族植物学、経済植物学、環境保全、生態学の著書多数。



コスモス国際賞

地球上のすべての生命体の相互関係、これらの生命体と地球との相互依存、相互作用に関する研究活動や業績であって、「自然と人間との共生」という理念の形成発展にとくに寄与すると認められるものに授与される。

マンガで読むコスモス国際賞

ギリアン・プランス卿 —— 森と人との共生をみつめて

2024年11月12日発行

発行——公益財団法人 国際花と緑の博覧会記念協会

〒538-0036 大阪市鶴見区緑地公園 2番 136号

TEL: 06-6915-4500 FAX: 06-6915-4524

URL: <https://www.expo-cosmos.or.jp>

作画——山下 茜

制作協力——京都精華大学 京都国際マンガミュージアム

参考文献——Langmead, Clive (2nd edition, 2001).

A Passion for Plants: The Life and Vision of Ghillean Prance.

Kew: Royal Botanic Gardens. ISBN 1-900347-76-8.

マンガで読む

コスモス 国際賞

International Cosmos Prize
Sir Ghillelan Prance

